

授業と評価の年間計画

教科	地理歴史	科目	日本史B	
使用教科書(発行所)	改訂版 詳説日本史(山川出版社)			
履修条件 対象生徒	選択 普通科・理数科 3年			
学習目標	わが国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察し、わが国の文化と伝統の特色についての理解を深めることによって歴史的思考力を養い、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を身に付ける。			
学習方法	<p>【授業】 教科書と授業プリントを核に授業を展開する。単に歴史用語を暗記するのではなく、歴史の流れの把握や歴史的意義の理解が重要である。</p> <p>【家庭】 予習は教科書にしっかり目を通し、授業に備えること。授業中によくわからなかった事項については、図説・用語集などで確認すること。模試の過去問などは、点数を出すのではなく、頭の中を整理する意識で取り組み、わからないところはすぐにノート等で確認すること。</p> <p>【補習・その他】 補習では授業を進める。グレードアップセミナーでは、問題演習等を行う。</p>			
学習計画とねらい	<p>1 1学期</p> <p>(1)中間検査まで ア 幕藩体制の展開 イ 幕藩体制の動揺</p> <p>(2)期末検査まで ア 近代国家の成立</p> <p>2 2学期</p> <p>(1)中間検査まで ア 近代日本とアジア</p> <p>(2)期末検査まで ア 占領下の日本 イ 高度成長の時代 ウ 激動する世界と日本</p> <p>3 3学期</p> <p>(1)学年末まで ア 問題演習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代文化の成立の特徴を理解する。 ・列強の東アジア進出と、条約締結について理解する。 ・新政府の成立過程と諸政策を理解する。 ・日露戦争の経過を理解する。 ・資本主義の成立と発展について理解する。 ・大戦への参加が与えた影響を理解する。 ・大衆文化の登場について理解する。 ・金融恐慌への対応について理解する。 ・ファシズム体制の成立過程を理解する。 ・太平洋戦争の開戦、過程を理解する。 ・戦後の民主化推進について理解する。 ・東西対立と保守長期政権の成立について理解する。 ・大学入学共通テストに向けた問題演習により、対応力を養う。 		
評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	我が国の歴史に対する関心と課題意識を高め、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見だし、世界史的視野に立って考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断する。	我が国の歴史に関する諸資料から、有用な情報を選択して活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身に付ける。	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を世界史的視野に立って総合的に理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	定期考査や課題テストなどの成績を重視するが、授業における課題等の提出状況や出欠状況、授業態度も含め、総合的に判断して評価する。			
その他	大学入学共通テストでは、単に歴史用語を暗記するだけではその対応は不十分であり、歴史の流れや歴史上の意義を理解していなければならない。そのため、図説の写真や地図、教科書の脚注や史料にも注意を払わなければならない。			